

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマが好調にスタートし、ドラマ館の来訪客のため、街のあちこちに観光客が目立ち、にぎやかになっている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・客からの問い合わせが増えており、実際そのすべてが仕事につながっている。今月はとても大きな500人規模の葬儀依頼もあった。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月は中学に入学する新入生の指定体操着の販売が始まったが、前年と注文数等を比べてもいくらか増えた感じで、少し良くなっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客への情報等で少しずつ反応も感じられ、販売も上向き傾向にある。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・近隣の競合店が閉店した。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月から来月初めまでが受注のピークである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・良い週と悪い週の差があるものの、良い日が増えてきている。暖冬で夜でも出歩きやすいということが影響しているようである。前年の2月よりかなり良いので、このまま上向いて欲しい。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・ガソリン価格が下がっているのが大きい。
		変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・基幹商品である婦人、紳士衣料の不調が継続している。クリアランスセールも一段落し、春物商戦に入ってきたが、不調のトレンドが反転する要因は見当たらない。
		百貨店（副店長）	来客数の動き	・今月も食は好調、ファッションは不調という傾向が続いている。バレンタインは日曜日だったので心配していたが前年をクリアでき、物産展も好調であった。一方で文化催事で女性客が大勢来店していたのに、婦人服への買い回りはさっぱりである。円高、株安、マイナス金利などあまり明るい話題がない。資産を持っているなければ直接的に打撃を被ることもないのだが、富裕層でなくても財布のひもを一段と引き締めているようである。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・価値のあるものがちゃんと売れてきている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・店計の今月の売上数値は、前年比100%で客数も同じ状況である。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・株価、為替の乱高下や中国バブル、原油バブルの崩壊、マイナス金利政策など、世の中が変だとわかると、客は少しずつ変化し始め、日常の買物が慎重になってきている。売上は堅調であり、来店頻度は上がっているが、客単価は4か月連続でダウンし、1点単価は上昇しているが、1人当たり買上点数は10か月連続ダウンしており、消費の中身が変わりつつある。
		スーパー（商品部担当）	単価の動き	・集客で一部苦戦している店舗はあるものの、買上点数や客単価の変動は見られず、景気の変動は大きく感じられない。イベント時の集客なども変化はない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は節分の恵方巻きあるいはバレンタインデーなどイベントが結構あった。春の気配もやや感じられるようになり、若干客数が増えてきたと思うが、商品の動きはまだ全体的には今一つである。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・年度末の工事需要で車の往来が増え、販売数が108%、客数は103%くらいで伸びている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が落ちていないので景気自体は特別大きく落ち込んでいるわけではないが、客数自体は少し減っているため、店舗売上は良くない状況である。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・単価は上がっているが、客数が横ばいである。購入点数は減っているため、マーケットは縮小している。商品の購入点数が増えていかないと景気が良いとは言えない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・決算期を迎え、車の乗り換えを勧めているが、客は非常に慎重である。今使用している車を修理や車検に出し、現状維持というケースが多い。

乗用車販売店 (経営者)	競争相手の様子	・例年2～3月は期末で動きが活発になるが、今年は動きが遅いという同業者が多いようである。	
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・例年、春になると周辺のホテル等に新卒者が入社し、3～4月の入社に合わせて中古車や軽自動車の新車など、比較的価格の安い車がかなり売れたものだが、当地周辺の多くが大型のホテルチェーンに変わってしまったため、地元採用の人がほとんどおらず、年々様変わりしてきて販売量が極端に減っており、前年と同じくらい落ち込んだの推移である。	
自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・特に良いとか悪いという明確な数字、雰囲気はない。	
住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・競争相手の開店により、客数が減っている。市内で住関連用品を扱っている店で、業績の良い店はない。	
住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・売上高としては灯油価格の下落が響き、マイナスである。来客数は横ばい状態である。競合各社のディスカウント施策が顕著になってきている。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・寒暖の影響か、街中に客の動きが全くない。	
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・客が非常にお金を使わない、客単価が低いといった話を同業者からも聞くので、そのような傾向にある。	
一般レストラン (経営者)	それ以外	・仕出し及びレストラン部門は順調だが、宴会の需要がさっぱりである。客の会社経営者の話を聞くと、仕事も多く資金状況も悪くないところが多いようで、人手不足が最大の課題になってきている。	
観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・3か月前も現在と同様、比較的良い状況であり、3か月前と比べると、景気の動向は変わらない。	
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・1月の伸びの悪さが2月中旬まで影響している。後半からは状況が一変して、高稼働、高単価で推移している。これほどまでに極端な傾向は今までになかったような気がする。	
旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・オフシーズンなので来客数は大きくは変わらない。そのようななかでも、インバウンドの来訪数は堅調である。	
タクシー(経営 者)	お客様の様子	・月の中ほどから夜の動きが悪くなり、前年同月と比べて6%の減少である。	
通信会社(経営 者)	お客様の様子	・高齢者世帯の解約がここに来て増えてきている。	
通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・決算時期を迎え、例年通りの販売数の動きは期待できるが、株価の下落や世界情勢が不安定なため、あまり積極的な消費マインドには働かない。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・例年以上に寒暖の差が激しく、入場者が天候に左右されやすい状況である。	
観光名所(職 員)	来客数の動き	・近隣スキー場の雪不足は解消されたものの、スキーツアー客が大幅に減っている。1月に発生したスキーバス事故の影響が顕著に表れている。	
ゴルフ場(総務 部長)	来客数の動き	・1月上旬から3月上旬まで冬期クローズのため、3か月前と来場者の予約状況は比較できない。	
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共、ほとんど変化がみられない。	
その他サービス [自動車整備 業](経営者)	お客様の様子	・当県、地方の消費全体が回復しない。客は少しずつだが確実に財布のひもを締めている。収入がここ数年改善されず、疲弊感ばかりが募っている。	
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・来客数、単価、総売上、すべて横ばいである。その他テナントの予約状況や今までの実績等についても、前年比も含めて横ばいのため、変わらない。	
その他サービス [イベント企 画](職員)	お客様の様子	・地方では、客の動きは変わらない。	
住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・ちょうど年替わりでアパート等の移動があるため、引き合いは若干いつもの月よりも数が多い。これは一時的なもので、2～3月が過ぎるとまた件数は落ちる。土地については、既に値下げして安くになっている物件でも、購入側は価格交渉してくるため、更に値下げせざるを得ない。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・駅前通りの商店街でありながら日中は人通りが少なくなり、夜の飲食店も良くない。今まで栄えていた飲食店も来月末には辞めると言いだし、来店数が減るばかりで、家賃の支払も苦しくなる。

商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減り、売上の減少が続いているため、単価を見直しして、前年並みに近づけるために苦戦している。経済の不安定が景気の足を引っばっているため、良くなるとは考えにくい。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・2月に入って2回ほど雪が降った。雪がないと困ったということはないが、まだいろいろな面で商売がうまく進んでいない。
一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・来客数、発生業務共に少なく、商品の動きは修理不能の買換えのみである。広告を出しても反応は鈍く、厳しい状況が続く。
一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・干し芋もほぼ終わり、一般の来客は固定客のみで、あとは本当に足りないものだけを買って来ている客のようである。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月は今のところ積雪などによる阻害要因はないにもかかわらず、来客数が減少しており、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
百貨店（店長）	販売量の動き	・以前は全体が悪くても高額品は売れたが、ここに来て動きが悪くなっている。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客単価は前年比98%で、新商品等への反応ももう一步である。売込みをかけて何とか単価の前年割れを回復させていきたい。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・気候のせいにはしたくないが、ここまで気温の乱高下が続くと、当店のような衣料関係はかなり打撃を受ける。そうでなくても2月は相当に静かな月なので、相当響いて来客数が減っている。
家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・暖冬の影響もあるが、季節商材は前年の約85%で、映像関連の動きも約80%と全体的に苦戦している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両販売量が落ちている。企業はできる限り使っていこうとし、個人客は自動車にあまり興味を持っていない。3か月前から比べるとじり貧という感じである。
乗用車販売店（販売担当）	競争相手の様子	・販売店の仲間で時々会合をするが、現金では売れない、ローンを使うと金利がかかるということで、0.9%とか1.9%とか金利の低いローンを使っているが、それでも客足は伸びず販売量は変わらない。当店だけではなく、他店も同様である。今月は本当に悪い。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・株価低迷や消費意欲の減退に伴い、景気は悪化している。自動車販売は安全装置装着車の普及に力を入れて販売拡大を図っているが、軽自動車の売行きが低迷している。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・1品単価はやや上昇傾向にあるが、買上点数が落ちてきているため、客単価は横ばいである。消費マインドは冷えている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・家族で行う仏事や祝事などは、かなり人数を絞り込んでの注文が多くなっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・良い時にはほとんど気にならずに営業できるが、悪くなっている時にはすべての項目が当てはまるような気がする。とにかく景気が悪い。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きからすると、2月は稼働率が3か月前に比べて落ちている。3施設のうち2施設が前年を下回っており、若干落ち気味と判断している。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内、海外旅行共に受注が悪く、客の動きや成約が落ち込んでいる。春休み等での旅行の相談もあまり多くなく、全般的に低迷している。
タクシー運転手	販売量の動き	・暖かい陽気で雪がなく、昼間は人も動かない。また、夜は景気が悪いせいか、お酒を飲みに出る人が少なく、タクシーが動かない。
タクシー（役員）	お客様の様子	・景気の先行きが不透明である。
通信会社（社員）	お客様の様子	・販売は悪かったが、前年並みに戻ってきている。
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・雪によるクローズもあったが、暖かい日もあり、前月より来場者は少ないものの前年比では伸びている。ただし、寒さのため、さすがに年配者の来場は少ない。
美容室（経営者）	来客数の動き	・2月は毎週末の雨や雪のため、来客数が前年に比べて極端に少ない。この時期は、他の月より客の動きがあまりない状況が続いている。

		設計事務所（所長）	来客数の動き	・1月は少し上向きだったが、今は真逆で、現在進行中の物件もなかなかうまく進まない上に今後の情報もない、といった状況である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・売り買い共に物件自体の数が少ない。案件がないと仕事にならない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・冬の日差しは弱く、アーケードの中は暗い。その上人通りといえば通行人のみで、中心商店街とも言えない。売上は固定客が頼りである。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候の変動が激しいことや、地域で催し物が行われていなかったため、来客数がかなり少なくなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・去年はちょうど北陸新幹線延伸ということで、ターミナル駅の改装など、いろいろな面で活気付いていたが、それも落ち着いてしまい、人の動きもなく、今月は悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年2月は悪いが、今年は今までにないくらい悪い。今までは午前中くらいは動きがあったが、今月は1日中利用客が少ない。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸出が増加している。
(北関東)	やや良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭売り商品用の受注が、わずかながら増加傾向にある。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・油圧建設機械関連の仕事は依然として低調であるが、自動車の試作開発案件を中心に引き合いが増え、現場の機械の稼働率も徐々に上がってきている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・1月よりも取引先の様子、受注量等の増加でやや良い状況になっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・災害復旧工事の本工事発注があり、受注が大幅に伸びている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販促イベントの依頼が増えている。以前は経費削減のため、かなり少なくなっていたが、イベントをやる販促は、活気があって良いものである。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・通常2月は落ち込む時期だが、今年は春節の影響もあり、国外からの来県者が多くみられ、出荷する量も増加して、平年以上の売上があった。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が3～4割落ちてきているので、また銀行から借入する。条件が厳しくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事はばらつきがあり、不安定である。市場が委縮しているのか、部品がすぐ入らない状態にもかわらず、受注が入るとすぐ納品を要求される。ゆとりのない状態が続いている。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・自社太陽光発電は、合計3.5メガ、自社開発60%の連携になり、3本目の事業柱として順調に推移している。廃家電プラントのフロン回収機関連の納入は一巡しているため、全体としては横ばいである。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・日銀マイナス金利政策等により、自宅用金庫の物量が目立って増えてきている。時期的に新生活商品、白物家電やインテリア、生活用品等は前年並みの荷動きになっている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業については、取引先の動向に変化がないと感じるが、観光業については外国人観光客が増加しており、宿泊状況はおおむね良好である。
		金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・建設業で、学校の耐震構造にかかわる公共工事関連の仕事が増えているが、一部の業種だけである。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・前月延期になった業務を今月実施できたものの、新たに取引先の予算の都合により延期や中止になった業務もあったため、トータルでは横ばいである。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・チラシ出稿量は前年比103.1%となっている。ホームセンターの店長の話だと、今年は雪が少ないため、1月に続き冬物の売行きが鈍いようである。また、原油価格が下がり、灯油価格も下がっているが、灯油の売上量は前年を下回っているようである。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・建設関係は引き続きやや繁忙である。食品、衣料等の個人消費関連は年始景気を経て落ち着いている。飲食業関係はさほど大きな変化はない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・低位安定である。「やや悪い」の少し手前まで来ている。

	社会保険労務士	取引先の様子	・ほとんどの事業所ではここ2～3か月売上高にあまり変化がみられず、景気回復していない。	
	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。	
やや悪くなっている	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・販売点数が若干減少している。	
	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・為替相場の急変など金融市場の変化が激しく、中小企業を中心に先行きの景気に対する不透明感が高まっている。	
	不動産業 (経営者)	それ以外	・生活スタイルや消費活動での2極化が、目に見える形で進んでいる。個人商店の閉店が増えている。賃貸物件の空室や個人住宅の空家、空きテナントが目立つようになっている。	
悪くなっている	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注量が上向きにならない。取引先の電話システムの受注が伸びていない。	
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・2月も引き続き卸、小売共に売れていない。徐々に厳しさを増している。今月になって春先に予定していた展示会を中止したり、会場をホテルから公共施設の会議室に変更して対応するとの連絡が入っている。	
	建設業 (開発担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事主体の建設業だが、現政権のもと2年以上は前年増の発注額があったが、今年度は前年比8%減、当社も同10%減の発注額で厳しい状況になってきている。以前はコンクリートから人へのキャッチフレーズのもと公共工事が悪者扱いされていたので、現政権には感謝している。建設業は10年以上続いた不況業種で、人員削減など実施し、魅力ある業種でなくなったため、作業員の高齢化など問題も多数抱える業種でもある。経営は厳しい状況が続いている。	
雇用関連 (北関東)	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・正社員求人割合が大きくなってきている。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・減少傾向だった求人数が、新規及び有効共にわずかではあるが増加し、雇用に向けた動きが見られる。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	雇用形態の様子	・このところ、仕事量は前よりは少なくはないが、安定した仕事がなく、忙しくなったり暇になったりの繰り返しで、売上から考えると、あまり伸びない。
		人材派遣会社 (管理担当)	周辺企業の様子	・周辺企業からの急な派遣依頼もなく、派遣切りもなく、変化のない月である。
		人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・給与等の理由で、働く意欲が湧かない人が多い。
		求人情報誌制作会社 (経営者)	求人数の動き	・福祉、介護、医療などの募集は今月も特に多いが正社員を募集する企業は極端に少ない。
		職業安定所 (職員)	雇用形態の様子	・企業の採用意欲はサービス業を中心に高いものがあり、求人数は引き続き増加傾向にあるが、派遣求人、臨時求人の占める割合が高まっており、求職者の希望が多い正社員求人はなかなか増加していない。
		民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において、装置設備の受注が増える傾向があり、機械の技術求人が目立ち始めたが、電気、電子系技術求人が落ち込んでいる。製造現場は、派遣求人が減り始め、パート、契約社員でまかなう様子がうかがえる。
		学校 [専門学校] (副校長)	求職者数の動き	・本年度は、例年に比べ就職率は非常に良い。また、県内外の優良企業にも就職の内定をいただけているので、求職者全員の就職を決定させたい。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・ガソリン価格が落ち着いたようで、この時期は寒いいため、ガソリン、灯油の需要はあったと思われる。製造工場については、電子、機械は在庫調整や時間調整などもあり、動きは少なかったほうである。衣料品等と食料品はあまり進展はないものの、小刻みな動きが見受けられる。野菜はまだ薬物は高値のところもある状態である。住宅関連は依然として停滞気味のようである。	
悪くなっている	○	○	○	